
劇場小説版宇宙は賑やか 最悪のデジモン集団現る！

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

劇場小説版宇宙は賑やか 最悪のデジモン集団現る！

【Nコード】

N4323U

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

宇宙は賑やかな劇場小説版完成。しかし、このストーリーは第二期に続く真実へのストーリーに導かれていく。

レイキー達は、謎の集団を見かけていた。

「あいつらはなんだ。」

「分からないけど何かやばい。」

テヴシステカモン 完全体 必殺技「クレイクショック」

ライム達は、戦闘態勢に入った。

「クレイクショック！」

「攻撃してきたぞ！」

トピは、尻尾の焦げ跡を見て嫌な顔をしていた。

「大丈夫ナリ。後で手当てしてあげるから。」

「ありがとう、ひのまるさん。」

「これからどうする。メイとサイクロンとはぐれてしまったんだぜ。」

「ゼムがそう言った。」

「いい案浮かばないと、別のデジモンが来る。」

「ノアの言うとおりだ。このままでは次の敵が見つかる。」

その時、更に狭い路地にメイがいた。

「みんなこつちよ。」

「メイなんでこんなところに。」

「サイクロンが抜け道を見つけてくれたの。」

「ああ、ここにつながっていると思ったぜ！」

「敵の数が増えます多くなってきたな。」

「ええー。」

「メイは、何か考えが思いついたか？」

「此の通路で隠れなげらしましょう。」

「そうだな、アニフレ達よ来い！」

「おお！」

彼等を見ていたのは、ツメモンだった。

「誰がいる。」

ウルーシュが投げた剣がツメモンに命中して消滅した。

その映像を見てしまっていた人物がいた。

今回の黒幕のゴッドナイトモンであった。

その名の通り、神騎士型デジモンだが悪の存在である。

タイキ達は、囚われの身になっていた。

「これで全部になる。」

メイの作戦はこうであった。

「敵の城壁をライム達が敵を倒しながら進んでいきその反対側を私達が攻めるってどう。」

「いい感じだが、あともう少しというところだな。」

「どっぴいっことっ?」

「ツメモンがスパイしていた。」

「それって、まずいことじゃないの?」

シルギモンが言った。

「その通りだ。それに俺のクロスローダーの中には、ディアボロモンしかいない。大半が囚われの身になっている。」

「私の方は、シルギモンとリキトモンしかいない。」

「戦力不足だからこそ、斬新な方法を考えるしかほかにないな。」
レイキーはいいことを思いついた。

「二手がだめなら、大分裂作戦ならどうだ。戦力はまばらになってしまいがそれぞれの能力を最大値にまで引き上げていれば大丈夫だ。」

「確かに、どちらか一方が終わればそつちに援護ができる。」

「レイキーの作戦を使用してやる。」

サイクロンがそう決めると早速実行した。

「ここからが練習なしのぶつつけ本番。レイキーの考えている行動で俺達を誘導してくれ！」

「うん、まずライバル組があそこにいるケルベロモンをおびき出して攻撃開始、その間に僕達は、天にいるテヴシステカモンを撃墜する間にサイクロンとメイちゃんは、一気に城に飛び込む。敵がいたら、ライムとゼイムがそいつらを倒すという戦略だよ。」

ゼイムとライムは協力することを考えた。

「クロスハート連合軍は、臨時司令官深海サイクロンの手で取らせてもらおう。行くぞディアボロモン！」

「その言葉を待っていたぞサイクロン殿！」

「私達も行くよ。リロード！リキトモン。」

「メイ、僕達も戦う。仲間助けることが僕達のやり方だ。」

「よし、シルギモン、リキトモン。デジクロス！」

「ツワードハンデモン！」

「行くぞ！」

「おうっ！」

ライバル組の3人がケルベロモンに襲いかかった。

「数は50体と多いようだが、一気に消滅させられていった。」

その次にメイン組の4人がテヴシステカモンを殲滅させていった。

ライムとゼイムは、城の中に入り、そこにいるデビドラモンたちを倒していった。

「これは、超進化の輝き。」

「うん！」

「ディアボロン超進化、エクサアーマゲモン！」

「ツワードハンデモン超進化、グレードハンデモン！」

ゴッドナイトモンが現れた。

「非道葬楼磁！」

2体のデジモンが吸い込まれそうになるもエクサアーマゲモンが食い止めた。

「サンキュー！」

ライバル組とメイン組が囚われの身のみんなを助けてあげた。

「さあ、サイクロンとメイに俺達のデジソウルを与えようぜ！」

「ああ！」

「みんなの力を一つに。」

「俺達の力を一つに！」

「エクサアーマゲモン！グレードハンデモン！ダブルクロス！」

「エクサアーマゲモン！」「グレードハンデモン！」「ダブルクロス！グランドディアボルムモン！」

ゴッドナイトモンは、威圧感に吹き飛ばされそうになった。

「何だあいつは・・・」

「デリートジャッジ！」

「ぎゃあああああ！」

ゴッドナイトモンが消滅すると同時に周りにあるものも消滅した。

みんなは、深い絆で再び自らの心を確かめなおしたのであった。

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4323u/>

劇場小説版宇宙は賑やか 最悪のデジモン集団現る！

2011年10月9日22時53分発行